



2017年度グリーンアジア国際セミナー International Forum for Green Asia 2017

九州大学グリーンアジア国際リーダー教育センター准教授
古野 裕史

平成29年11月29日(水)に筑紫キャンパスの総合研究棟(C-Cube)筑紫ホールにおいて、グリーンアジア国際戦略プログラム(グリーンアジアプログラム)の国際セミナーを国内外から107名の参加者を得て開催した。本セミナーは一貫性博士課程3年生から5年生(博士後期課程に相当)を対象としたグリーンアジアプログラム独自科目「国際演習B」の一部としても実施され、本年度は3期コース生(一貫性博士課程4年生)が「国際演習B2」として紀要原稿の取りまとめ、会場の準備、当日の受付、全体進行、招待講演の座長、照明などを分担し、会の運営全般に携わった。また本セミナー終了後の11月29日(水)夕方から30日(木)にかけて、九州大学総合理工学府が上海交通大学、釜山大学校と毎年開催している「3校セミナー」(Cross Straits Symposium on Energy and Environmental Science and Technology, CSS-EEST)が同じ会場で開催されたため、今回の

グリーンアジア国際セミナーはこれと連携して実施された。

午前中は3名の先生に講演をお願いした。上海交通大学のXiaoqiang Zhai准教授にはソーラーエネルギーシステムについて、釜山大学校のDonggeun Lee教授には石炭燃料電池の陰極の開発について、それぞれ基礎から最新の研究までを解説いただいた。最後に上海交通大学のXinde Cao教授より、重金属を含有したバイオ炭のスーパー・キャパシタへの利用展開について紹介いただいた。本セッション全体の司会進行(1名)、および各講演の座長(3名)は上記のとおりグリーンアジアプログラムの3期コース生が務めた。

午後からはグリーンアジアプログラムの一貫性博士課程3年生から5年生のうち32名が博士論文研究として実施してきた成果をポスターで発表した。1時間40分のセッション時間の中、活発な議論がなされた。

活動報告

